

# 1 水源の森林づくり事業の推進

## 1 ねらい（5か年計画から転記）

良質で安定的な水を確保するため、荒廃が進む水源の森林エリア内の私有林の適切な管理、整備を進め、水源かん養など森林の持つ公益的機能の高い「豊かで活力ある森林」を目指す。

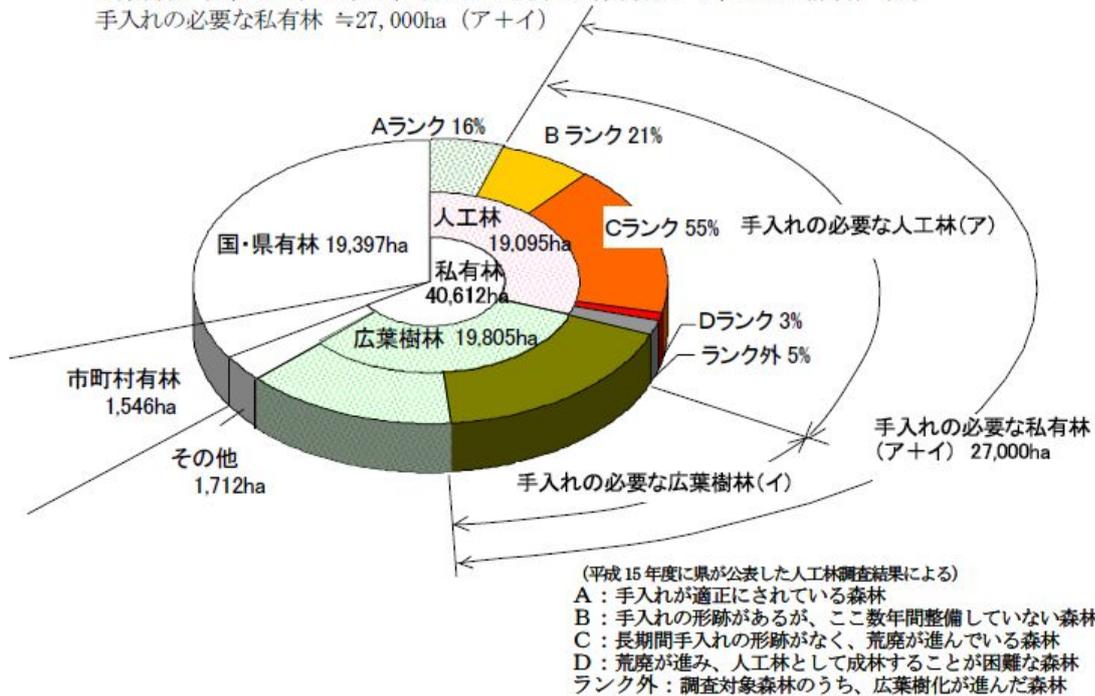
## 2 目標（5か年計画から転記）

平成 34 年度までに水源の森林エリア内の手入れの必要な私有林 27,000ha を確保し、平成 38 年度までに延べ 65,974ha を整備することを目標として、当初 5 年間で 6,215ha の確保、9,592ha の整備を行う。



### (現状)

- 水源の森林づくり事業は、平成9年度から着手し、私有林の公的管理・支援を進めている。なお、この事業を展開する地域を明確にするため、水源の森林エリア (61,555ha) を設定している。
- 水源の森林エリア内の私有林 (40,612ha) の荒廃状況 (下のグラフ参照)
  - ・ 人工林 (19,095ha) のうち、手入れの必要な人工林は 16,112ha (ア)
  - ・ 広葉樹林 (19,805ha) のうち、手入れの必要な広葉樹林は 10,893ha (推計) (イ)



## 3 事業内容（5か年計画から転記）

水源分収林、水源協定林、買取り、協力協約の4つの手法により、公的管理・支援を行い、巨木林、複層林、混交林など豊かで活力ある森林づくりを進める。さらに、これまでの取組をより一層推進するとともに、整備のスピードアップ（確保後の初回整備を人工林は3年以内を2年以内に、広葉樹林は5年以内を3年以内に）や水源地域として重要な私有林の公有地化の拡大（確保目標9%を12%に）を図る。

(1) 公的管理・支援の方法

- ① 水源分収林……森林所有者との分収契約により、森林を整備する。
- ② 水源協定林……森林所有者との協定（借上げなど）により森林整備を行う。
- ③ 買取り……貴重な森林や水源地域の保全上重要な森林を買い入れ、保全整備する。
- ④ 協力協約……森林所有者が行う森林整備の経費の一部を助成する。

(2) 目標とする林型



【目標】

(単位：ha)

|     | H9～H18年度<br>(a) | 当初5年間<br>H19～H23 | 当初5年間を<br>含む20年間<br>H19～H38 (b) | 計<br>(a + b) |
|-----|-----------------|------------------|---------------------------------|--------------|
| 確保量 | 8,414(841)      | 6,215(1,243)     | 18,586(1,162)                   | 27,000       |
| 整備量 | 7,384(738)      | 9,592(1,918)     | 58,590(2,930)                   | 65,974       |

※ 確保は平成34年度までに完了。( )内は単年度平均

#### 4 事業費（5か年計画から転記）

当初5年間計 152億2,500万円（単年度平均額 30億4,500万円）  
 うち新規必要額 83億9,300万円（単年度平均額 16億7,900万円）

#### 5 事業実施状況

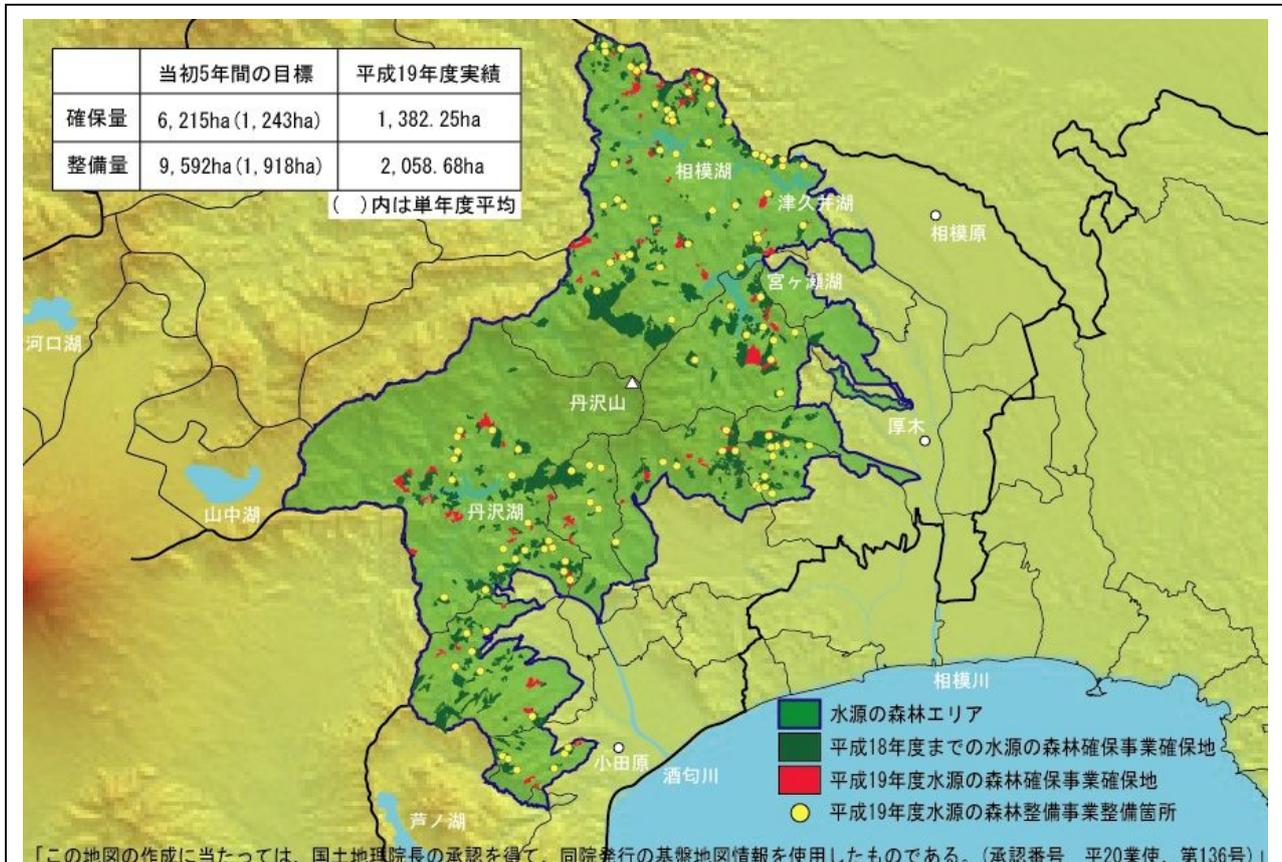
##### (1) 確保事業

|       | 平成19年度     | 平成20年度     |
|-------|------------|------------|
| 水源分収林 | 8.80ha     | 0.00ha     |
| 水源協定林 | 936.97ha   | 1,012.44ha |
| 買取り   | 109.22ha   | 67.33ha    |
| 協力協約  | 327.26ha   | 347.59ha   |
| 合計    | 1,382.25ha | 1,427.36ha |
| 執行額   | 6億2,946万円  | 4億7,796万円  |

##### (2) 整備事業

|           | 平成19年度     | 平成20年度     |
|-----------|------------|------------|
| 県による整備    | 1,500.10ha | 1,550.44ha |
| 協力協約による整備 | 558.58ha   | 606.17ha   |
| 合計        | 2,058.68ha | 2,156.61ha |
| 執行額       | 13億9,015万円 | 12億4,747万円 |

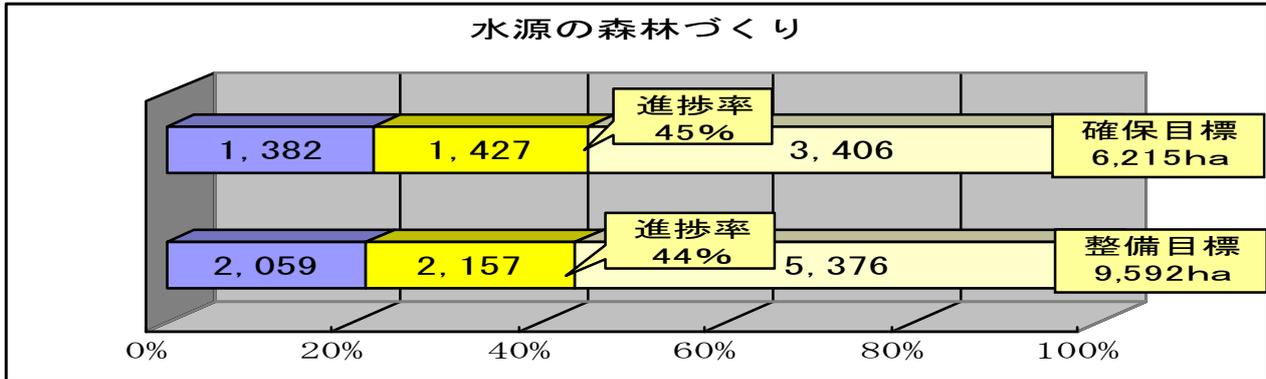
#### 【事業実施箇所図】（平成19年度実績）



## 6 5か年計画進捗状況

|      | 5か年計画の<br>目標 | 平成19年度<br>実績・進捗率 | 平成20年度<br>実績・進捗率 | 19～20年度<br>累計    | 平成21年度<br>計画 |
|------|--------------|------------------|------------------|------------------|--------------|
| 確保事業 | 6,215ha      | 1,382ha<br>(22%) | 1,427ha<br>(23%) | 2,809ha<br>(45%) | 1,400ha      |
| 整備事業 | 9,592ha      | 2,059ha<br>(21%) | 2,157ha<br>(22%) | 4,216ha<br>(44%) | 2,151ha      |

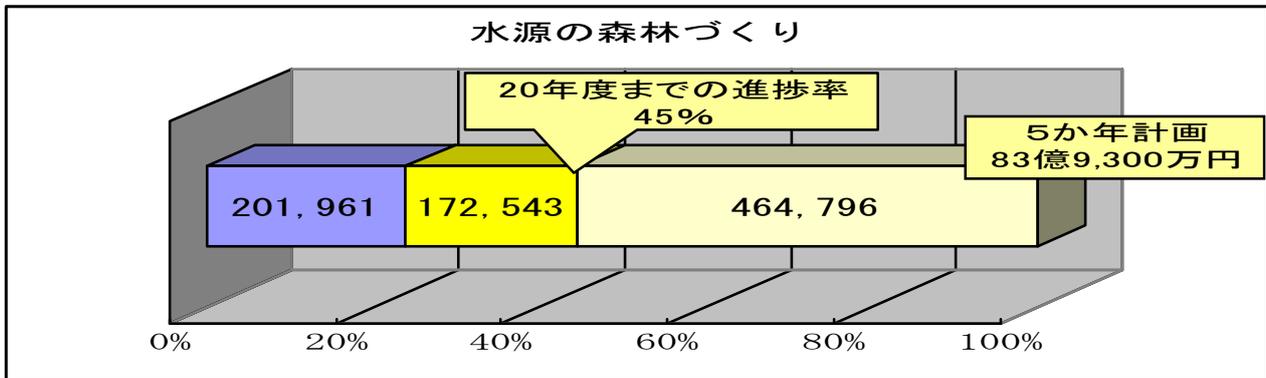
※ 整備事業の平成21年度計画には20年度明許繰越分を含む。



## 7 予算執行状況

| 5か年計画<br>合計額 | 平成19年度<br>執行額・進捗率   | 平成20年度<br>執行額・進捗率   | 19～20年度<br>累計       | 平成21年度<br>予算額 |
|--------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------|
| 83億9,300万円   | 20億1,961万円<br>(24%) | 17億2,543万円<br>(21%) | 37億4,504万円<br>(45%) | 19億65万円       |

※ 平成21年度予算額には20年度明許繰越分を含む。



## 2 丹沢大山の保全・再生対策

### 1 ねらい（5か年計画から転記）

水源保全上重要な丹沢大山について、シカの採食圧や土壌流出等による植生の衰退防止を図るため、新たな土壌流出防止対策を講じることで、森林の保全・再生を図る。

### 2 目標（5か年計画から転記）

丹沢大山国立公園の核となる特別保護地区(1,867ha)において、20年間で延べ234ha整備することを目標として、当初5年間で58.5haの整備を行う。

(→ 丹沢大山自然再生計画の「Iブナ林の再生」の中で、当初5年間で58.5haの整備を行う。)

丹沢大山自然再生計画の対象地域



### 3 事業内容（5か年計画から転記）

#### ① 新たな土壌流出防止対策の実施

- 丸太筋工、ロール工、植生保護柵等を組み合わせた新たな工法により、土壌流出を防止するとともに、植生の回復を図る。
- 林床植生が衰退し、急激な土壌浸食の発生等が認められる場所への整備を優先的に進めるとともに、新たな丹沢大山保全計画（現・丹沢大山自然再生計画）に基づき、整備区域を大幅に拡充する。

|    |                   |
|----|-------------------|
|    | 当初5年間             |
| 面積 | 58.5ha（平成20～23年度） |

#### ② ブナ林等の調査研究

- 土壌成分やオゾン等がブナ林に与える影響を調査し、保全対策に反映させる。

#### ③ 県民連携・協働事業

- 樹幹保護及び登山道整備等の協働事業を実施することにより、県民と行政の連携を図る仕組みを構築し、県民参加を促進する。

### 4 事業費（5か年計画から転記）

当初5年間計 7億9,600万円（単年度平均額 1億5,900万円）  
 うち新規必要額 7億9,600万円（単年度平均額 1億5,900万円）

## 5 事業実施状況

### (1) 新たな土壌流出防止対策の実施

平成 19 年度

- ・ 詳細地形測量等：4,450.0ha
- ・ 土壌流出対策工： 6.6ha

平成 20 年度

- ・ 土壌流出対策工： 17.1ha
- ・ 現地測量調査： 22.4ha
- ・ 地形図作成： 2,540ha



### (2) ブナ林等の調査研究

- ① **ブナ林立地環境調査**  
(気象・大気モニタリング、**大気環境解析**)
- ② **ブナ林衰退環境解明調査**  
(ブナハバチ発生状況調査)
- ③ **ブナ林広域衰退実態調査**  
(ブナ林衰退状況モニタリング)

|                  | ブナ林立地環境調査<br>(気象・大気モニタリング)<br>(大気環境解析)                             | ブナ林衰退環境解明調査<br>(ブナハバチ発生状況調査) | ブナ林広域衰退実態調査<br>(ブナ林衰退状況モニタリング)       |
|------------------|--|------------------------------|--------------------------------------|
| 調査内容             | 気温、湿度、雨量、日射量、風速、<br>風向、オゾン濃度                                       | ブナハバチの発生状況                   | 林況、衰退度、クロロフィル含量                      |
| 頻 度              | 連続観測   | 毎年                           | 5年毎                                  |
| 平成 19 年度<br>実施状況 | 既存施設による観測の継続<br>新たに3地点に観測施設設置<br>(丹沢山、堂平、大野山)                      | ブナハバチ発生動向の把握と<br>調査手法を開発     | —                                    |
| 平成 20 年度<br>実施状況 | 既存施設による観測の継続<br>(檜洞丸、丹沢山、鍋割山、菰釣山、<br>丹沢山、堂平、大野山)<br>気象・大気の蓄積データの解析 | ブナハバチ発生動向の把握と<br>調査手法の改良     | 現地調査の実施(丹沢山、蛭ヶ岳、<br>塔ノ岳、鍋割山、大室山、菰釣山) |

### (3) 県民連携・協働事業

平成 19 年度

- ・ 登山道の荒廃状況等の調査、県民と行政の連携を図る仕組みの検討
- ・ **登山道カルテの作成**

平成 20 年度

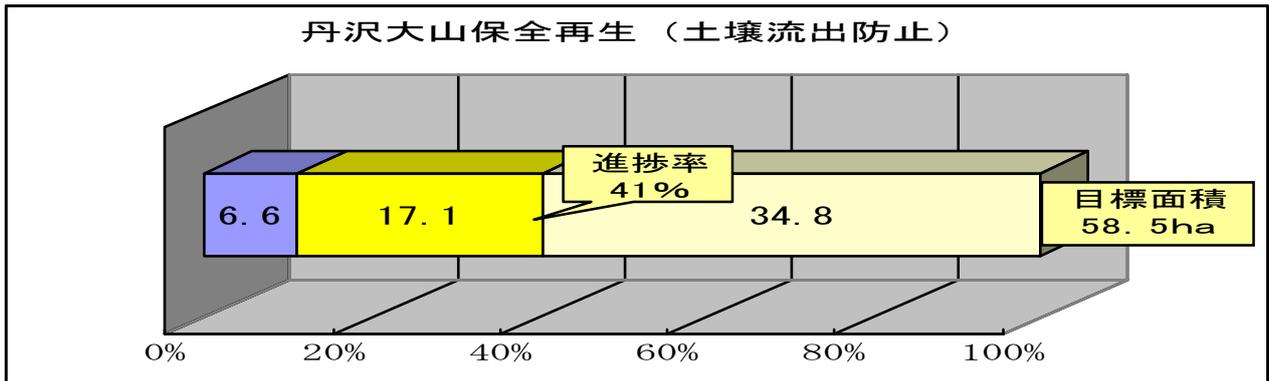
- ・ 県民協働型登山道維持管理補修協定の締結、補修活動実施の支援
- ・ 自然公園適正利用基本方針の策定に係る調査及び自然公園基礎資料等の作成

【事業実施箇所図】（平成19年度実績）



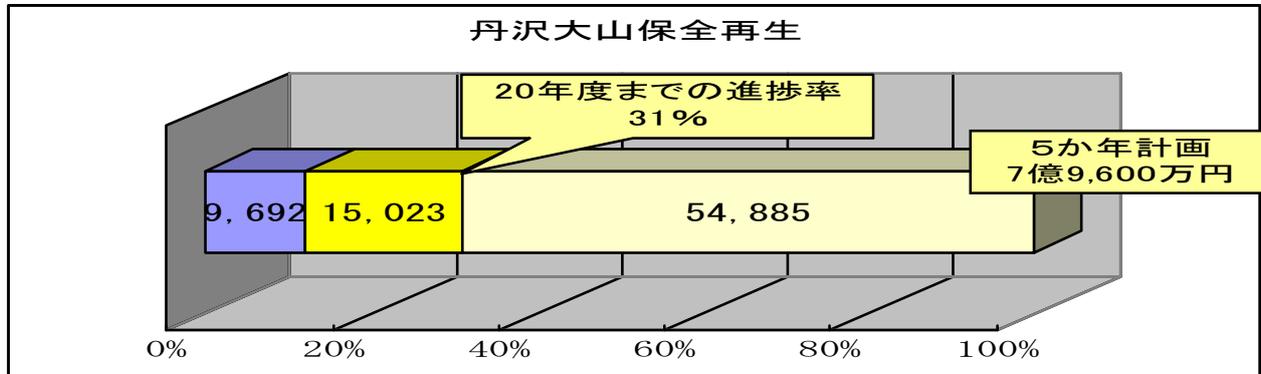
6 5か年計画進捗状況

|           | 5か年計画の目標 | 平成19年度実績・進捗率   | 平成20年度実績・進捗率    | 19～20年度累計       | 平成21年度計画 |
|-----------|----------|----------------|-----------------|-----------------|----------|
| 土壌流出防止対策工 | 58.5ha   | 6.6ha<br>(11%) | 17.1ha<br>(29%) | 23.7ha<br>(41%) | 15.0ha   |



## 7 予算執行状況

| 5か年計画<br>合計額 | 平成19年度<br>執行額・進捗率 | 平成20年度<br>執行額・進捗率  | 19～20年度<br>累計      | 平成21年度<br>予算額 |
|--------------|-------------------|--------------------|--------------------|---------------|
| 7億9,600万円    | 9,692万円<br>(12%)  | 1億5,023万円<br>(19%) | 2億4,715万円<br>(31%) | 1億9,150万円     |



### 3 溪畔林整備事業

#### 1 ねらい（5か年計画から転記）

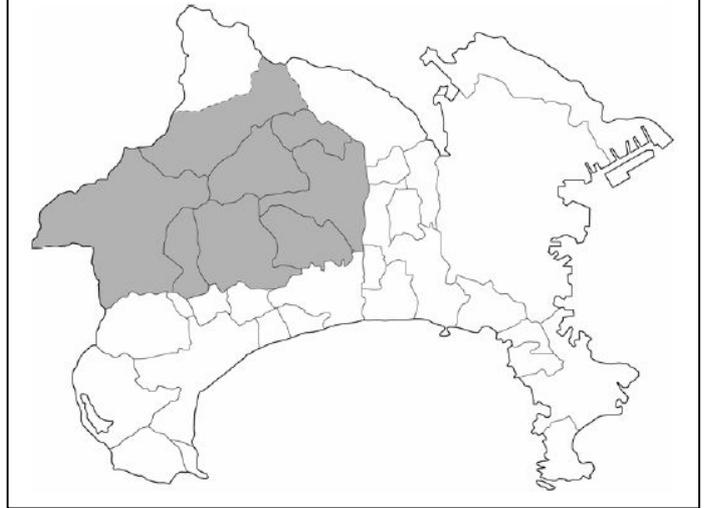
水源上流の溪流沿いにおいて、土砂流出防止や水質浄化、生物多様性の保全など森林の有する公益的機能が高度に発揮される良好な溪畔林の形成を目指す。

#### 2 目標（5か年計画から転記）

丹沢大山保全計画の沢の重点管理区域内にある主流となる沢沿いの森林 180haのうち、土砂流出等の荒廃の著しい20haについて、5年間で整備する。

（→ 丹沢大山自然再生計画の「IV溪流生態系の再生」の中で、土砂流出等の荒廃に著しい20haについて、当初5年間で整備する。）

丹沢大山自然再生計画の対象地域



#### 3 事業内容（5か年計画から転記）

丹沢大山自然再生計画における土砂流出等荒廃の著しい主要な沢について、概ね片岸 30mずつ、合わせて 60mを溪畔林として、択伐等の森林整備を実施するとともに、植生保護柵の設置による植生の回復や丸太柵等の設置による土砂流出防止の対策を講じる。（当初5年間は、見本林として私有林所有者への普及につながる県有林内で実施する。）

##### ① 調査測量

調査測量を実施する。

##### ② 択伐等の森林整備

調査測量の結果及び丹沢大山自然再生計画に基づき、次の事業を実施する。

（平成20年度以降）

|                   | 当初5年間  |
|-------------------|--------|
| 択伐等の森林整備          | 20ha   |
| 植生保護柵の設置          | 4,000m |
| 土砂流出防止のための丸太柵等の設置 | 5,000m |

#### 4 事業費（5か年計画から転記）

当初5年間計 2億円（単年度平均額 4,000万円）

うち新規必要額 2億円（単年度平均額 4,000万円）

## 5 事業実施状況

### (1) 平成 19 年度

溪畔林整備事業計画を策定

- ・山北町（笹子沢、白石沢、用木沢、東沢、仲ノ沢、西沢、大滝沢）
- ・清川村（本谷川支流、境沢）

### (2) 平成 20 年度

山北町（用木沢）、清川村（境沢）において、溪畔林の整備を実施。

- ・用木沢（事業区域面積 31.28ha）
  - 植生保護柵 1,560m
  - 丸太柵等土壌保全施設 620m
  - 人工林本数調整伐 1.21ha
- ・境沢（事業区域面積 6.32ha）
  - 植生保護柵 483m
  - 丸太柵等土壌保全施設 188m
  - 人工林本数調整伐 0.60ha

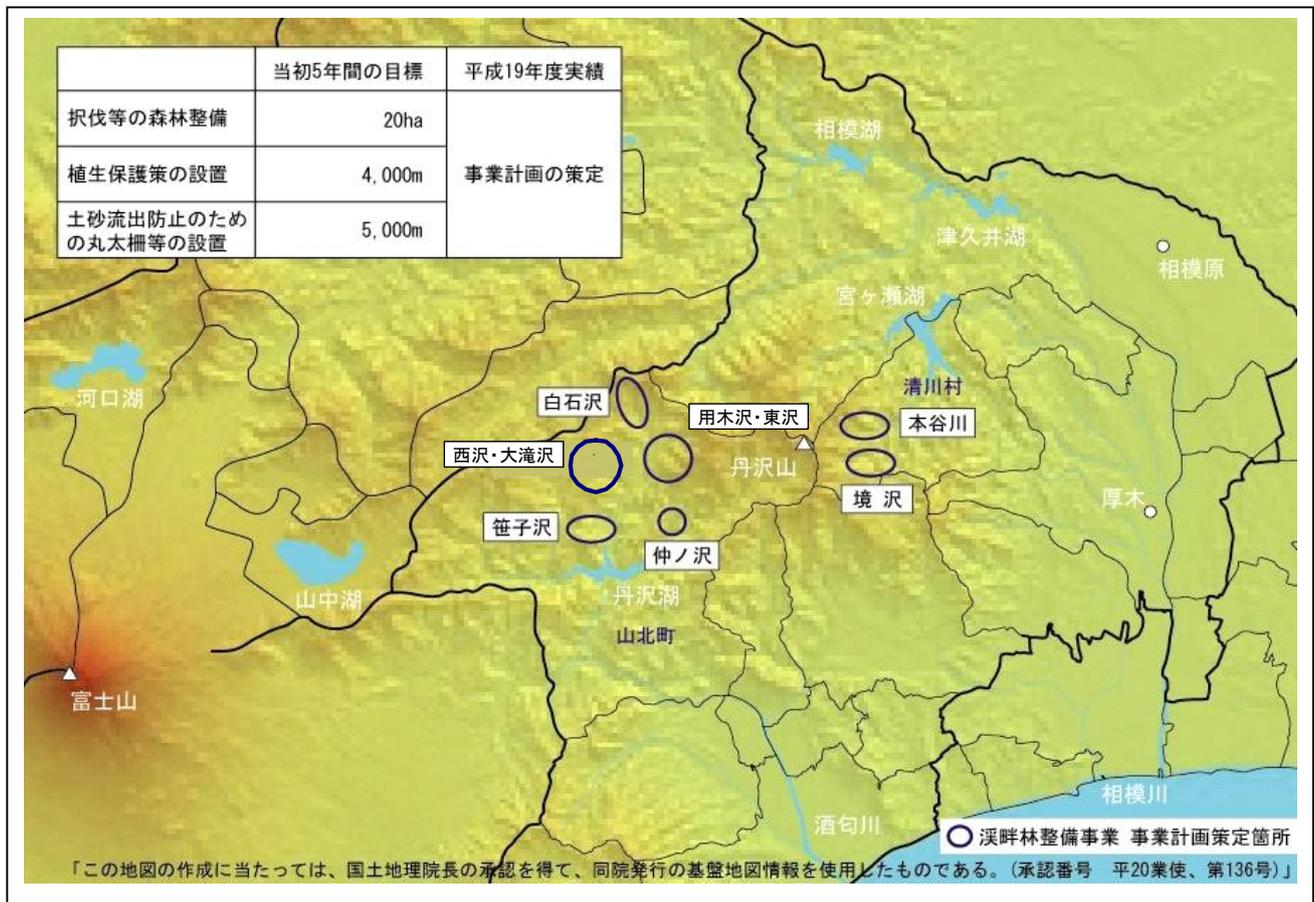
平成 20 年度の事業（植生保護柵）



平成 20 年度の事業（丸太柵等土壌保全施設）



【事業実施箇所図】（平成 19 年度実績）



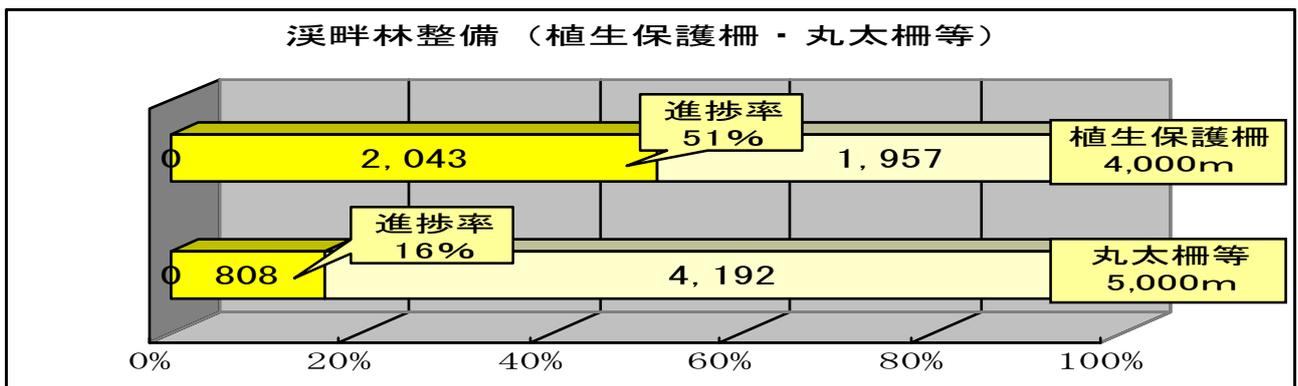
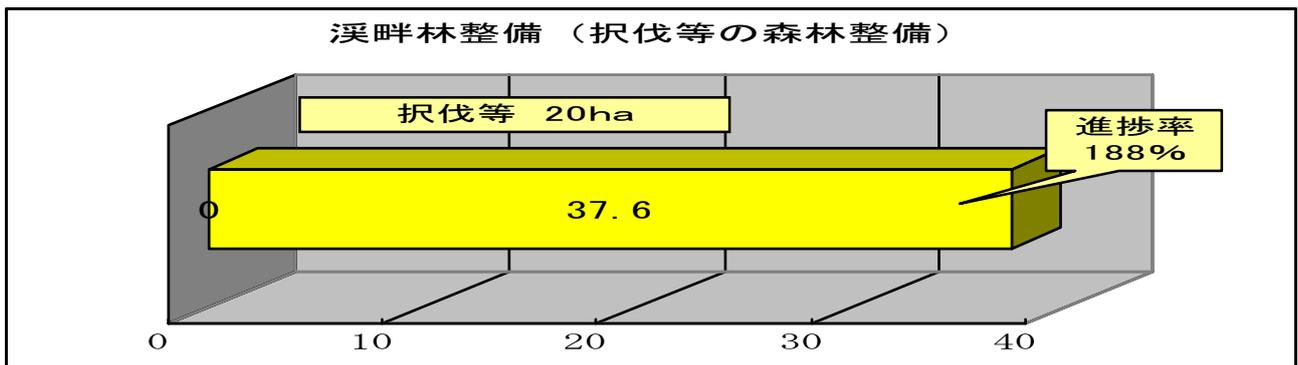
## 6 5か年計画進捗状況

|              | 5か年計画の<br>目標 | 平成19年度<br>実績・進捗率 | 平成20年度<br>実績・進捗率 | 19～20年度<br>累計    | 平成21年度<br>計画 |
|--------------|--------------|------------------|------------------|------------------|--------------|
| 調査測量         |              | 実施               | —                | —                | —            |
| 択伐等の<br>森林整備 | 20ha         | —                | 37.6ha<br>(188%) | 37.6ha<br>(188%) | 69.0ha       |
| 植生保護柵の<br>設置 | 4,000m       | —                | 2,043m<br>(51%)  | 2,043m<br>(51%)  | 1,000m       |
| 丸太柵等の<br>設置  | 5,000m       | —                | 808m<br>(16%)    | 808m<br>(16%)    | 1,300m       |

※ 平成20年度実績が5か年計画の目標を超過した理由

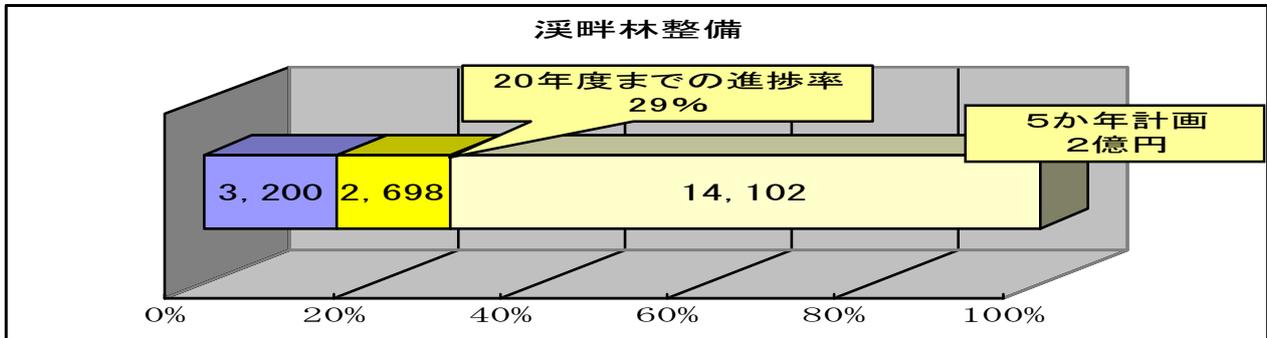
5か年計画では、「土砂流出等の荒廃の著しい20haを5年間で整備する」ことを目標としていたが、19年度に現地の詳細な調査を行い、整備が必要な区域及び整備内容を精査したところ、沢沿いの森林でニホンジカによる植生退行や樹皮食いが著しく進行しており、溪畔林を保全・再生するためには、人工林の択伐や植生保護柵などの局部的な対策の他に、土壌保全工や防護ネット等による樹幹保護などの対策を広範囲にわたって実施する必要があることが判明した。

平成20年度の森林整備の実施面積は、これらの実施箇所も含めた事業区域としたため、5年間の目標面積である20haを超過した。



## 7 予算執行状況

| 5か年計画<br>合計額 | 平成19年度<br>執行額・進捗率 | 平成20年度<br>執行額・進捗率 | 19～20年度<br>累計    | 平成21年度<br>予算額 |
|--------------|-------------------|-------------------|------------------|---------------|
| 2億円          | 3,200万円<br>(16%)  | 2,698万円<br>(13%)  | 5,898万円<br>(29%) | 4,000万円       |



## 4 間伐材の搬出促進

### 1 ねらい（5か年計画から転記）

水源かん養など公益的機能の高い良好な森林づくりを進めるため、間伐材の搬出を促進し、有効利用を図ることにより、資源循環による森林整備を推進する。

### 2 目標（5か年計画から転記）

森林整備により発生した間伐材の搬出を段階的に強化し、平成27年度を目標に年間24,000 m<sup>3</sup>の間伐材の搬出及び有効利用を図る。

### 3 事業内容（5か年計画から転記）

#### ① 間伐材の搬出支援

森林整備により伐採された間伐材の集材、搬出に要する経費に対して助成する。

(単位：m<sup>3</sup>)

| 搬出量 | 当初5年間 |       |        |        |        |        |
|-----|-------|-------|--------|--------|--------|--------|
|     | H19年度 | H20   | H21    | H22    | H23    | 計      |
| 目標  | 6,000 | 8,000 | 10,000 | 12,000 | 14,000 | 50,000 |

#### ② 生産指導活動の推進

森林所有者に対する経営指導や生産指導を行う指導員を2名配置し、森林所有者に対する間伐材の搬出への働きかけや山土場での技術指導を行う。

### 4 事業費（5か年計画から転記）

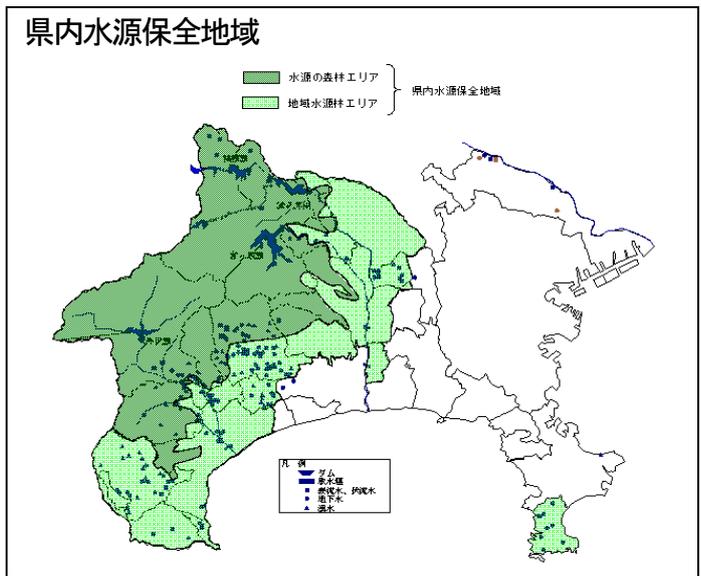
当初5年間計 4億900万円（単年度平均額 8,200万円）

うち新規必要額 4億900万円（単年度平均額 8,200万円）

### 5 事業実施状況

#### ① 間伐材の搬出支援（搬出量(m<sup>3</sup>））

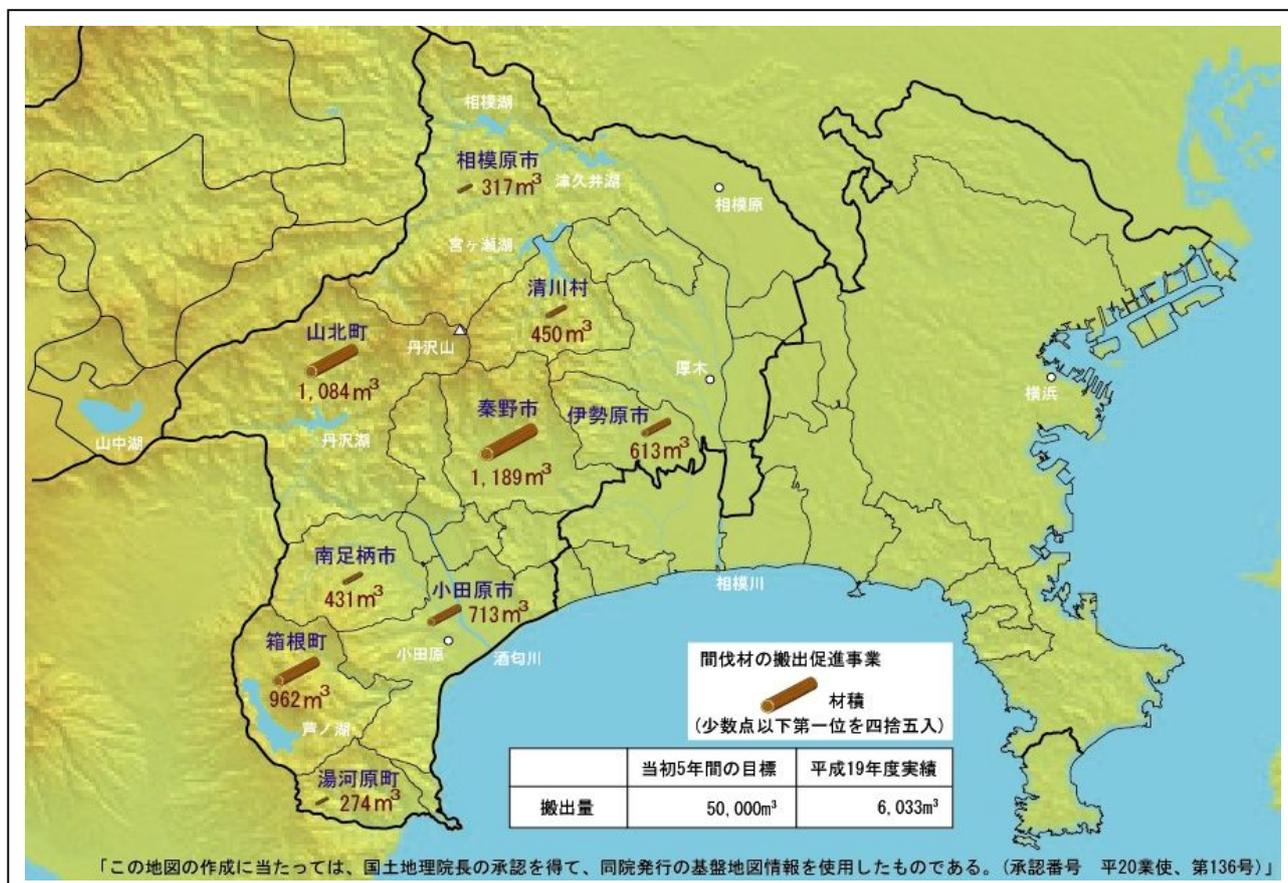
| 搬出元の森林の所在地 | 平成19年度 | 平成20年度 |
|------------|--------|--------|
| 小田原市       | 713    | 758    |
| 相模原市       | 317    | 1,080  |
| 秦野市        | 1,189  | 1,934  |
| 伊勢原市       | 613    | 266    |
| 南足柄市       | 431    | 379    |
| 山北町        | 1,084  | 1,057  |
| 箱根町        | 962    | 990    |
| 湯河原町       | 274    | 81     |
| 清川村        | 450    | 363    |
| 厚木市        | —      | 97     |
| 松田町        | —      | 99     |
| 合計         | 6,033  | 7,104  |



## ② 生産指導活動の推進

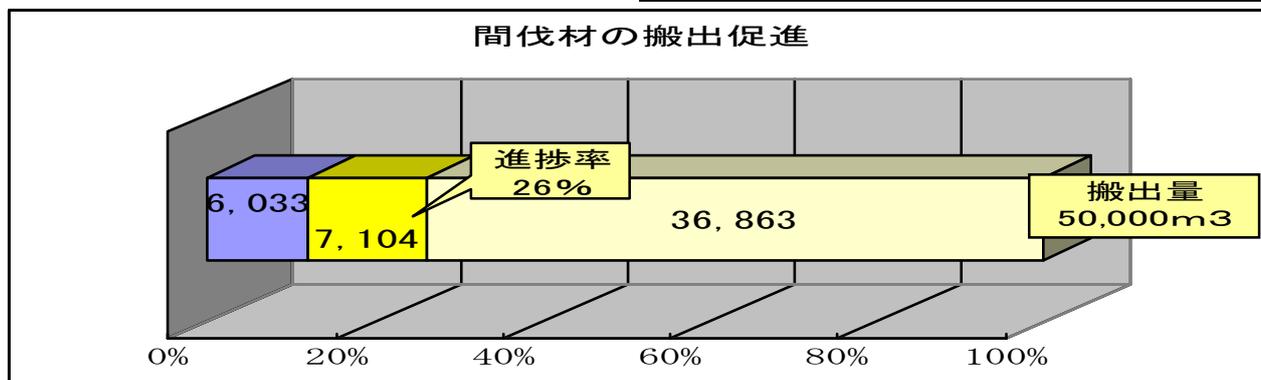
森林組合連合会が、森林所有者に対して、経営指導や山土場での造材や木材の仕分けを指導した。

### 【事業実施箇所図】（平成19年度実績）



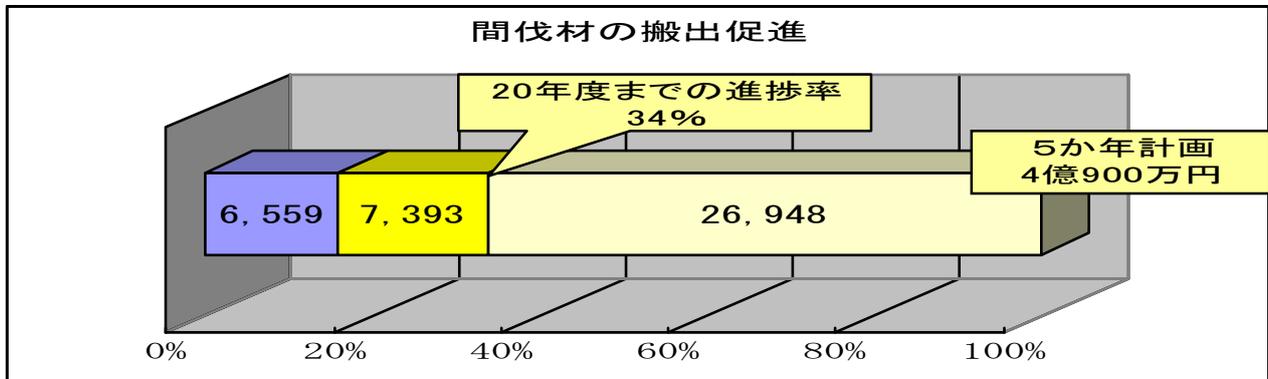
## 6 5か年計画進捗状況

|         | 5か年計画の目標  | 平成19年度実績・進捗率   | 平成20年度実績・進捗率   | 19～20年度累計       | 平成21年度計画  |
|---------|-----------|----------------|----------------|-----------------|-----------|
| 間伐材の搬出量 | 50,000 m³ | 6,033 m³ (12%) | 7,104 m³ (14%) | 13,137 m³ (26%) | 10,000 m³ |



## 7 予算執行状況

| 5か年計画<br>合計額 | 平成19年度<br>執行額・進捗率 | 平成20年度<br>執行額・進捗率 | 19～20年度<br>累計      | 平成21年度<br>予算額 |
|--------------|-------------------|-------------------|--------------------|---------------|
| 4億900万円      | 6,559万円<br>(16%)  | 7,393万円<br>(18%)  | 1億3,952万円<br>(34%) | 1億1,161万円     |



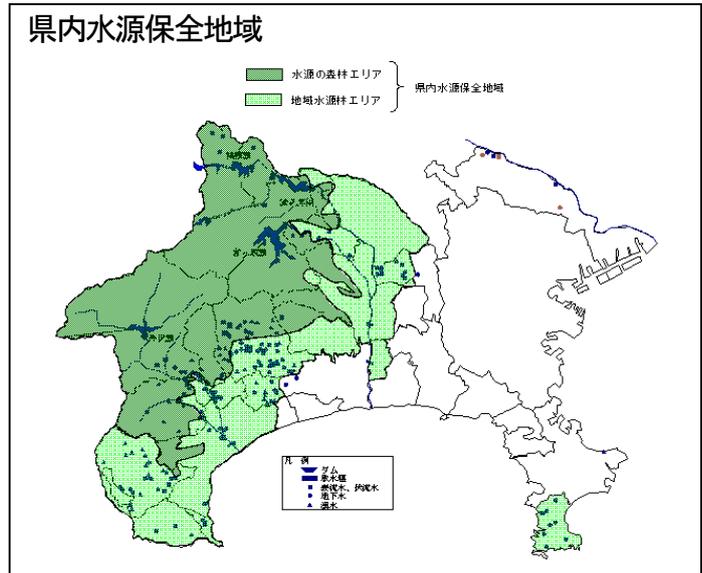
## 5 地域水源林整備の支援

### 1 ねらい（5か年計画から転記）

地域における水源保全を図るため、市町村が主体的に取り組む水源林の確保・整備や、地域水源林エリアの林齢36年生以上の私有林人工林の間伐を推進することにより、県内水源保全地域全域で水源かん養など公益的機能の高い森林づくりを目指す。

### 2 目標（5か年計画から転記）

- ① 地域水源林エリア内において、荒廃が懸念される私有林9,000haのうち水源の保全上重要な森林約6,000haについて、20年間で公的支援を行うことを目標として、当初5年間で1,263haを確保・整備する。
- ② 県内水源保全地域内の市町村有林等2,761ha（地域水源林エリア内1,215ha、水源の森林エリア内1,546ha）のうち、水源の保全上重要な市町村有林等2,356haについて、20年間で延べ4,476haを整備することを目標として、当初5年間で942haを整備する。
- ③ 林齢36年生以上の私有林人工林3,673haについて、概ね15年に一度間伐を実施することで、20年間で延べ4,755haの間伐を目標として、当初5年間で1,080haの間伐を促進する。



### 3 事業内容（5か年計画から転記）

県内水源保全地域全域で水源かん養など公益的機能の高い森林づくりを目指すため、次の市町村の取組を支援する。

#### ① 市町村が計画的に実施する私有林の確保・整備（市町村）

地域水源林エリア内の私有林について、協力協約等による確保・整備を行う。

【確保】地域水源林エリア内の水源の保全上重要な私有林で、荒廃が懸念される森林のうち、1,263haについて確保する。

|        |                 |
|--------|-----------------|
|        | 5年間の目標 (H19~23) |
| 協力協約面積 | 1,263ha         |

【整備】確保した個人有林について、10年間に一度整備する。

|      |                 |
|------|-----------------|
|      | 5年間の目標 (H19~23) |
| 整備面積 | 1,263ha         |

#### ② 市町村有林等の整備（市町村）

地域水源林エリア内及び水源の森林エリア内の市町村有林等の整備を行う。

（整備事業は10年に一度実施）

|      |                 |
|------|-----------------|
|      | 5年間の目標 (H19~23) |
| 整備面積 | 942ha           |

### ③ 高齢級間伐の促進（県）

地域水源林エリアの36年生以上の私有林人工林3,673haについて、概ね15年に一度の間伐を促進する。

|      |                |
|------|----------------|
|      | 5年間の目標（H19～23） |
| 整備面積 | 1,080ha        |

※ 平成19年度は100ha、20年度以降は年245ha実施。

### 4 事業費（5か年計画から転記）

当初5年間計 11億5,400万円（単年度平均額 2億3,100万円）  
 うち新規必要額 9億4,900万円（単年度平均額 1億9,000万円）

### 5 事業実施状況

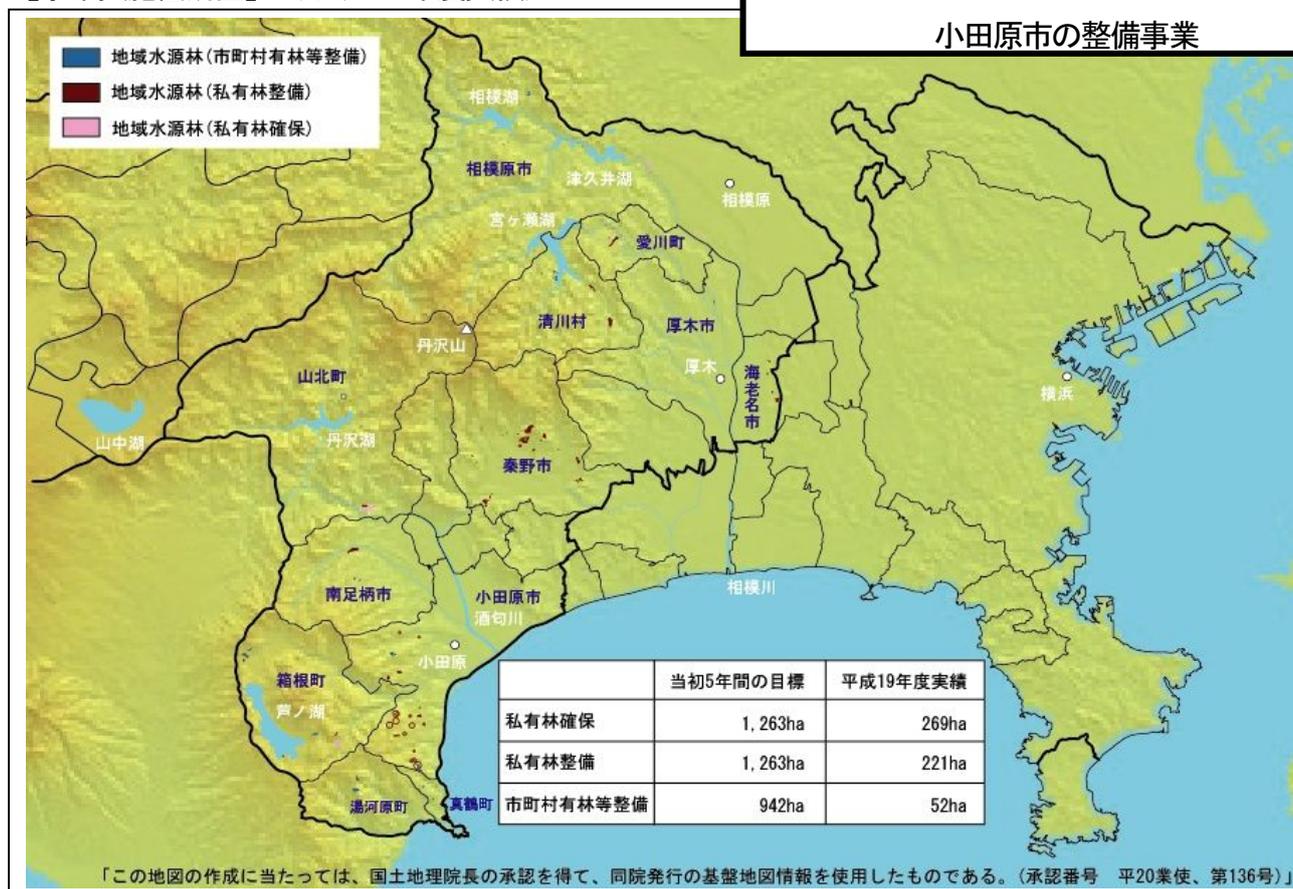
|          | 平成19年度    | 平成20年度    |
|----------|-----------|-----------|
| 私有林確保    | 269ha     | 229ha     |
| 私有林整備    | 221ha     | 257ha     |
| 市町村有林等整備 | 52ha      | 140ha     |
| 高齢級間伐    | 127ha     | 129ha     |
| 執行額      | 3億8,657万円 | 7億6,591万円 |

平成20年度の整備箇所



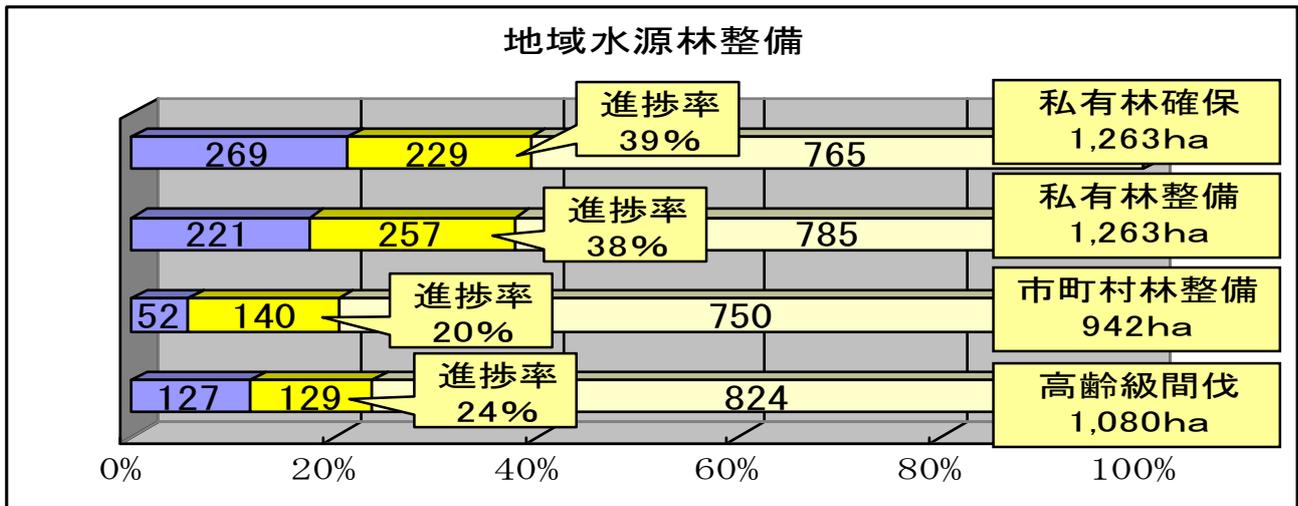
小田原市の整備事業

【事業実施箇所図】（平成19年度実績）



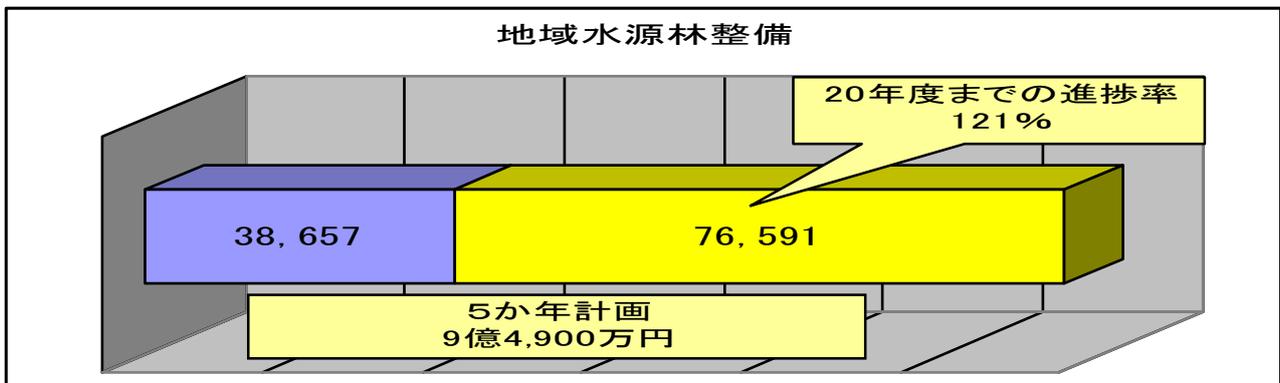
## 6 5か年計画進捗状況

|          | 5か年計画の<br>目標 | 平成19年度<br>実績・進捗率 | 平成20年度<br>実績・進捗率 | 19～20年度<br>累計  | 平成21年度<br>計画 |
|----------|--------------|------------------|------------------|----------------|--------------|
| ①私有林確保   | 1,263ha      | 269ha<br>(21%)   | 229ha<br>(18%)   | 498ha<br>(39%) | 171ha        |
| ②私有林整備   | 1,263ha      | 221ha<br>(17%)   | 257ha<br>(20%)   | 478ha<br>(38%) | 206ha        |
| ③市町村林等整備 | 942ha        | 52ha<br>(6%)     | 140ha<br>(15%)   | 192ha<br>(20%) | 190ha        |
| ④高齢級間伐   | 1,080ha      | 127ha<br>(12%)   | 129ha<br>(12%)   | 256ha<br>(24%) | 93ha         |



## 7 予算執行状況

| 5か年計画<br>合計額 | 平成19年度<br>執行額・進捗率  | 平成20年度<br>執行額・進捗率  | 19～20年度<br>累計        | 平成21年度<br>予算額 |
|--------------|--------------------|--------------------|----------------------|---------------|
| 9億4,900万円    | 3億8,657万円<br>(41%) | 7億6,591万円<br>(81%) | 11億5,248万円<br>(121%) | 8億3,000万円     |



## 6 河川・水路における自然浄化対策の推進

### 1 ねらい（5か年計画から転記）

水源として利用している河川において、自然浄化や水循環の機能を高め、水源河川としてふさわしい水環境の保全・再生を図る。

### 2 目標（5か年計画から転記）

自然浄化や水循環の機能を高めるため、河川環境の再生を目指し、河川・水路等の環境整備を推進する。

### 3 事業内容（5か年計画から転記）

市町村管理の河川・水路等における生態系の保全を推進し、良好な水源環境を形成するため、次の市町村の取組を支援する。



#### ① 生態系に配慮した河川・水路等の整備（市町村）

ダム湖や水源河川に流入する市町村管理の河川や水路等において、自然豊かな清流を保全するため、生態系に配慮した水辺環境の整備に取り組む。

|     |                    |
|-----|--------------------|
|     | 5年間の目標<br>(H19~23) |
| 箇所数 | 7箇所                |

#### ② 河川・水路等における直接浄化対策（市町村）

ダム湖や水源河川に流入する市町村管理の河川や水路等において、木炭等を利用した直接浄化の取組を推進する。

|     |                    |
|-----|--------------------|
|     | 5年間の目標<br>(H19~23) |
| 箇所数 | 30箇所               |

### 4 事業費（5か年計画から転記）

当初5年間計 11億2,200万円（単年度平均額 2億2,400万円）  
うち新規必要額 11億2,200万円（単年度平均額 2億2,400万円）

## 5 事業実施状況

### (1) 生態系に配慮した河川・水路等の整備

|                     |  |
|---------------------|--|
| 平成 19 年度<br>(3 箇所)  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・小田原市 桑原排水路／鬼柳排水路</li> <li>・相模原市 姥川</li> </ul>  |
| 平成 20 年度<br>(10 箇所) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・小田原市 鬼柳排水路／栢山排水路支川</li> <li>・相模原市 姥川／道保川</li> <li>・厚木市 恩曾川／東谷戸川</li> <li>・伊勢原市 日向用水路</li> <li>・南足柄市 泉川</li> <li>・山北町 日向用水路</li> <li>・開成町 宮ノ台土堀田水路</li> </ul> |

### (2) 河川・水路等における直接浄化対策

|                    |   |
|--------------------|---|
| 平成 19 年度<br>(3 箇所) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・開成町 河原町水路 (ひも状接触材) / 上島水路 (水生植物の植栽)</li> <li>・厚木市 恩曾川 (浄化ブロック)</li> </ul> |
| 平成 20 年度<br>(3 箇所) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・開成町 河原町水路 (ひも状接触材) / 上島水路 (水生植物の植栽)</li> <li>・厚木市 恩曾川 (浄化ブロック)</li> </ul> |



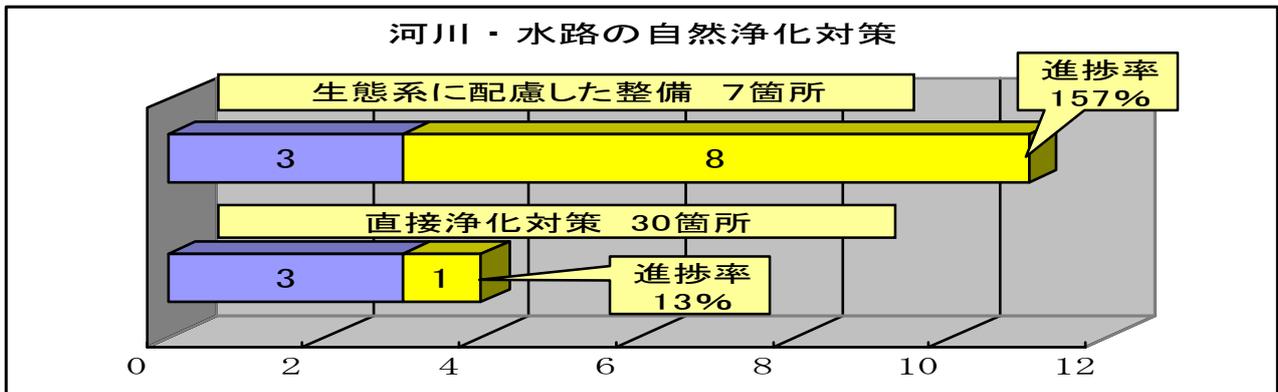
【事業実施箇所図】（平成19年度実績）



6 5か年計画進捗状況

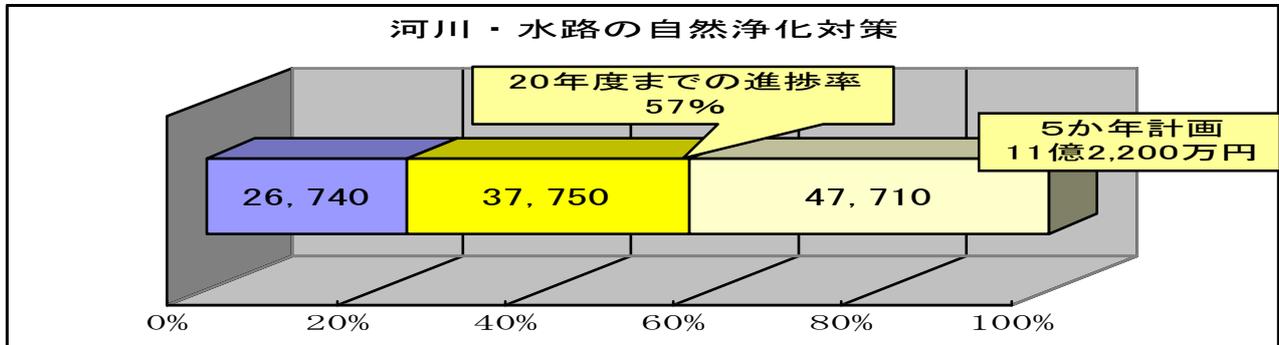
|           | 5か年計画の目標 | 平成19年度実績・進捗率 | 平成20年度実績・進捗率    | 19～20年度累計      | 平成21年度計画        |
|-----------|----------|--------------|-----------------|----------------|-----------------|
| 河川・水路等の整備 | 7箇所      | 3箇所<br>(43%) | 10箇所<br>(新規8箇所) | 11箇所<br>(157%) | 10箇所<br>(新規3箇所) |
| 直接浄化対策    | 30箇所     | 3箇所<br>(10%) | 3箇所<br>(新規1箇所)  | 4箇所<br>(13%)   | 8箇所<br>(新規5箇所)  |
| 合計        | 37箇所     | 6箇所<br>(16%) | 13箇所<br>(新規9箇所) | 15箇所<br>(41%)  | 18箇所<br>(新規8箇所) |

※ 19～20年度累計は、19年度箇所数と20年度新規箇所数の合計。



## 7 予算執行状況

| 5か年計画<br>合計額 | 平成19年度<br>執行額・進捗率  | 平成20年度<br>執行額・進捗率  | 19～20年度<br>累計      | 平成21年度<br>予算額 |
|--------------|--------------------|--------------------|--------------------|---------------|
| 11億2,200万円   | 2億6,740万円<br>(24%) | 3億7,750万円<br>(34%) | 6億4,490万円<br>(57%) | 2億7,530万円     |





## 5 事業実施状況

### (1) 地下水保全計画の策定

|          |  |
|----------|--|
| 平成 19 年度 | 7 市町<br>・ 足柄上地区 (南足柄市・大井町・松田町・山北町・開成町) ・ 中井町<br>・ 真鶴町 (調査) |
| 平成 20 年度 | 1 町 真鶴町  |

### (2) 地下水かん養対策

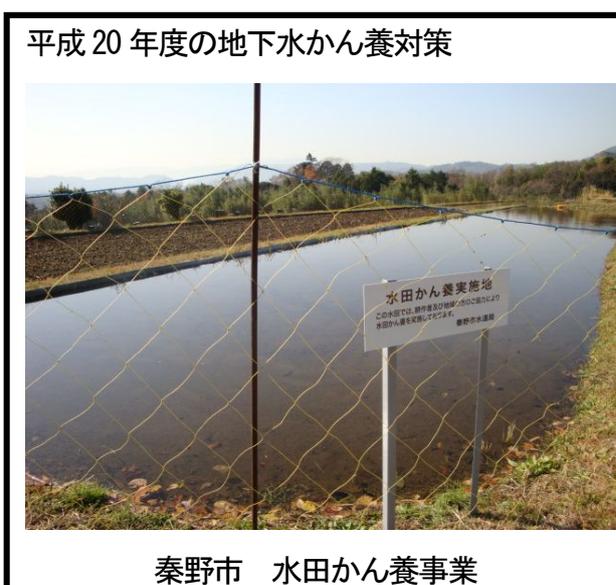
|          |  |
|----------|--|
| 平成 19 年度 | 1 市 座間市 (地下水かん養林の取得)   |
| 平成 20 年度 | 3 市町<br>・ 秦野市 (冬季水田・休耕田を利用した地下水かん養)<br>・ 座間市 (地下水かん養林の取得、雨水浸透施設設置者への助成)<br>・ 山北町 (透水性舗装) |

### (3) 地下水汚染対策

|          |  |
|----------|--|
| 平成 19 年度 | 2 市 秦野市 (有機塩素系化学物質の浄化) ・ 座間市 (調査)          |
| 平成 20 年度 | 2 市町<br>・ 秦野市 (有機塩素系化学物質の浄化)<br>・ 中井町 (調査) |

### (4) 地下水モニタリング

|          |   |
|----------|---|
| 平成 19 年度 | 1 市 秦野市   |
| 平成 20 年度 | 8 市町<br>・ 秦野市 (モニタリング調査)<br>・ 座間市 (モニタリング調査)<br>・ 足柄上地区 (南足柄市・大井町・松田町・山北町・開成町) ・ 中井町<br>(モニタリング計画の策定) |



【事業実施箇所図】（平成19年度実績）

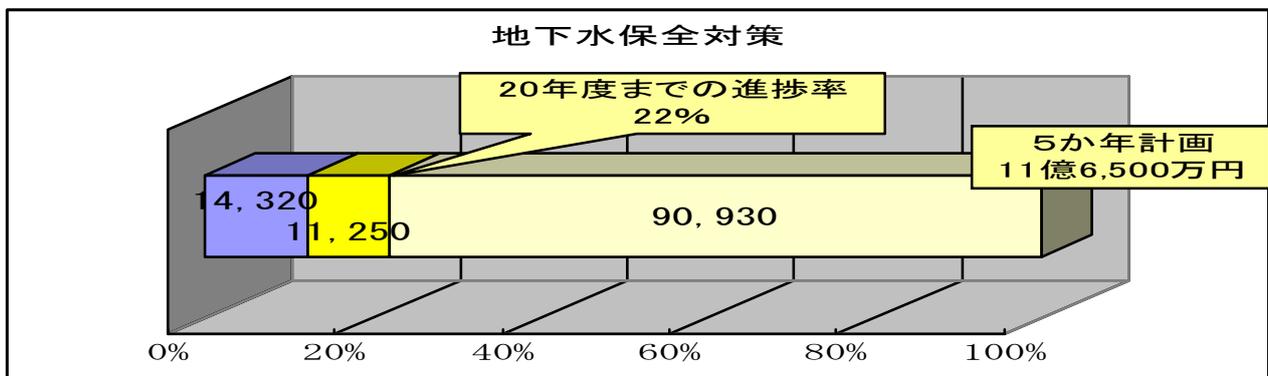


6 5か年計画進捗状況

5か年計画において、整備量などの数値目標を設定していないため、記載しない。

7 予算執行状況

| 5か年計画<br>合計額 | 平成19年度<br>執行額・進捗率  | 平成20年度<br>執行額・進捗率  | 19~20年度<br>累計      | 平成21年度<br>予算額 |
|--------------|--------------------|--------------------|--------------------|---------------|
| 11億6,500万円   | 1億4,320万円<br>(12%) | 1億1,250万円<br>(10%) | 2億5,570万円<br>(22%) | 1億6,970万円     |



## 8 県内ダム集水域における公共下水道の整備促進

### 1 ねらい（5か年計画から転記）

富栄養化の状態にあるダム湖への生活排水の流入を抑制するため、県内ダム集水域の公共下水道整備を促進し、ダム湖水質の改善を目指す。

### 2 目標（5か年計画から転記）

県内ダム集水域の下水道計画区域における下水道普及率を20年間で100%とすることを目標とし、当初5年間で59%程度（平成15年度末現在37%）に引き上げる。

### 3 事業内容（5か年計画から転記）

県内ダム集水域の下水道計画区域において、公共下水道の整備の取組を強化する。このため、県は、この取組を行う市町村への支援を行う。

県内ダム集水域



#### 〔支援の内容〕

公共下水道の整備を促進するために追加的に必要となる経費のうち、国庫補助金及び地方交付税措置額を除く公費負担相当額を支援する。

|        | 当初5年間 | 当初5年間を含む20年間 |
|--------|-------|--------------|
| 下水道普及率 | 59 %  | 100 %        |

※ ここでいう下水道普及率は、下水道計画区域人口に対する処理区域人口の割合であり、通常使用される下水道普及率（行政人口に対する処理区域人口の割合）とは異なる。

### 4 事業費（5か年計画から転記）

当初5年間計 76億6,400万円  
 （単年度平均額 15億3,300万円）  
 うち新規必要額 42億7,000万円  
 （単年度平均額 8億5,400万円）

### 5 事業実施状況

|        | 整備面積   |
|--------|--------|
| 平成19年度 | 28.6ha |
| 平成20年度 | 28.2ha |

平成20年度の公共下水道整備

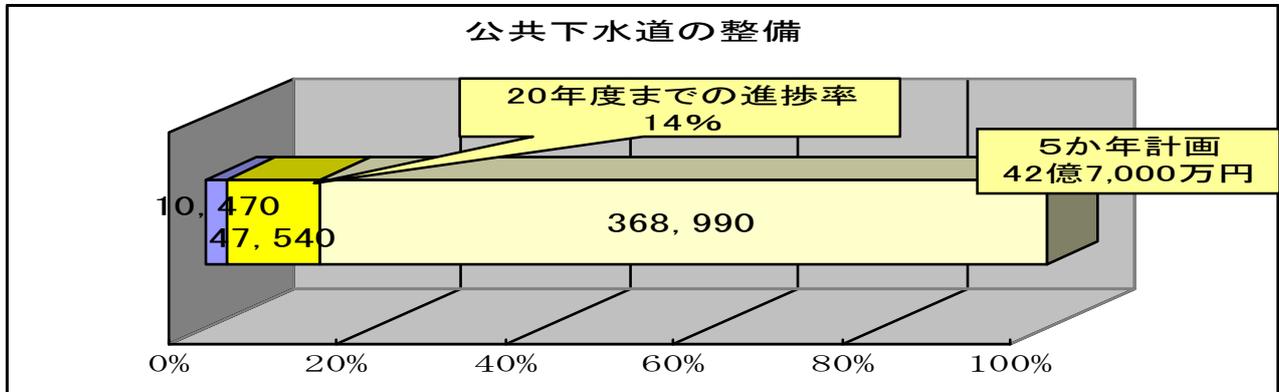


管路開削工事（相模原市津久井町）



## 7 予算執行状況

| 5か年計画<br>合計額 | 平成19年度<br>執行額・進捗率 | 平成20年度<br>執行額・進捗率  | 19～20年度<br>累計      | 平成21年度<br>予算額 |
|--------------|-------------------|--------------------|--------------------|---------------|
| 42億7,000万円   | 1億470万円<br>(2%)   | 4億7,540万円<br>(11%) | 5億8,010万円<br>(14%) | 5億7,500万円     |



## 9 県内ダム集水域における合併処理浄化槽の整備促進

### 1 ねらい（5か年計画から転記）

県内ダム集水域において、窒素・リンを除去する高度処理型合併処理浄化槽の導入を促進し、富栄養化の状態にあるダム湖水質の改善を目指す。

### 2 目標（5か年計画から転記）

県内ダム集水域において、20年間で合併処理浄化槽を完備することとし、当初5年間で市町村設置型合併処理浄化槽は全体計画基数のすべてを、個人設置型合併処理浄化槽は全体計画基数の4分の1程度を整備する。



### 3 事業内容（5か年計画から転記）

県内ダム集水域において、高度処理型合併処理浄化槽の整備を促進するとともに、市町村設置型合併処理浄化槽の導入を促進する。このため、県は、この取組を行う市町村への支援を行う。

#### 〔支援の内容〕

#### ・市町村設置型（高度処理型）

合併処理浄化槽を設置するため必要となる経費のうち、国庫補助金及び地方交付税措置額を除く公費負担相当額、維持管理費、単独処理浄化槽撤去費を支援する。

#### ・個人設置型（高度処理型）

合併処理浄化槽の整備助成に対し、公費負担相当額の50%（本来は1/3）、個人負担相当額の50%、奨励金、単独処理浄化槽撤去費を支援する。

|        | 5年間の目標<br>(H19~23) | 20年間の目標<br>(H19~38) |
|--------|--------------------|---------------------|
| 市町村設置型 | 200基               | 200基                |
| 個人設置型  | 300基               | 1,200基              |

※ 本事業は、「8 県内ダム集水域における公共下水道の整備促進」で掲げた下水道計画区域を除く。

### 4 事業費（5か年計画から転記）

当初5年間計 8億5,800万円（単年度平均額 1億7,200万円）  
うち新規必要額 6億4,600万円（単年度平均額 1億2,900万円）

## 5 事業実施状況

### (1) 市町村設置型

|          |            |
|----------|------------|
| 平成 19 年度 | 山北町 事前調査   |
| 平成 20 年度 | 山北町 30 基設置 |

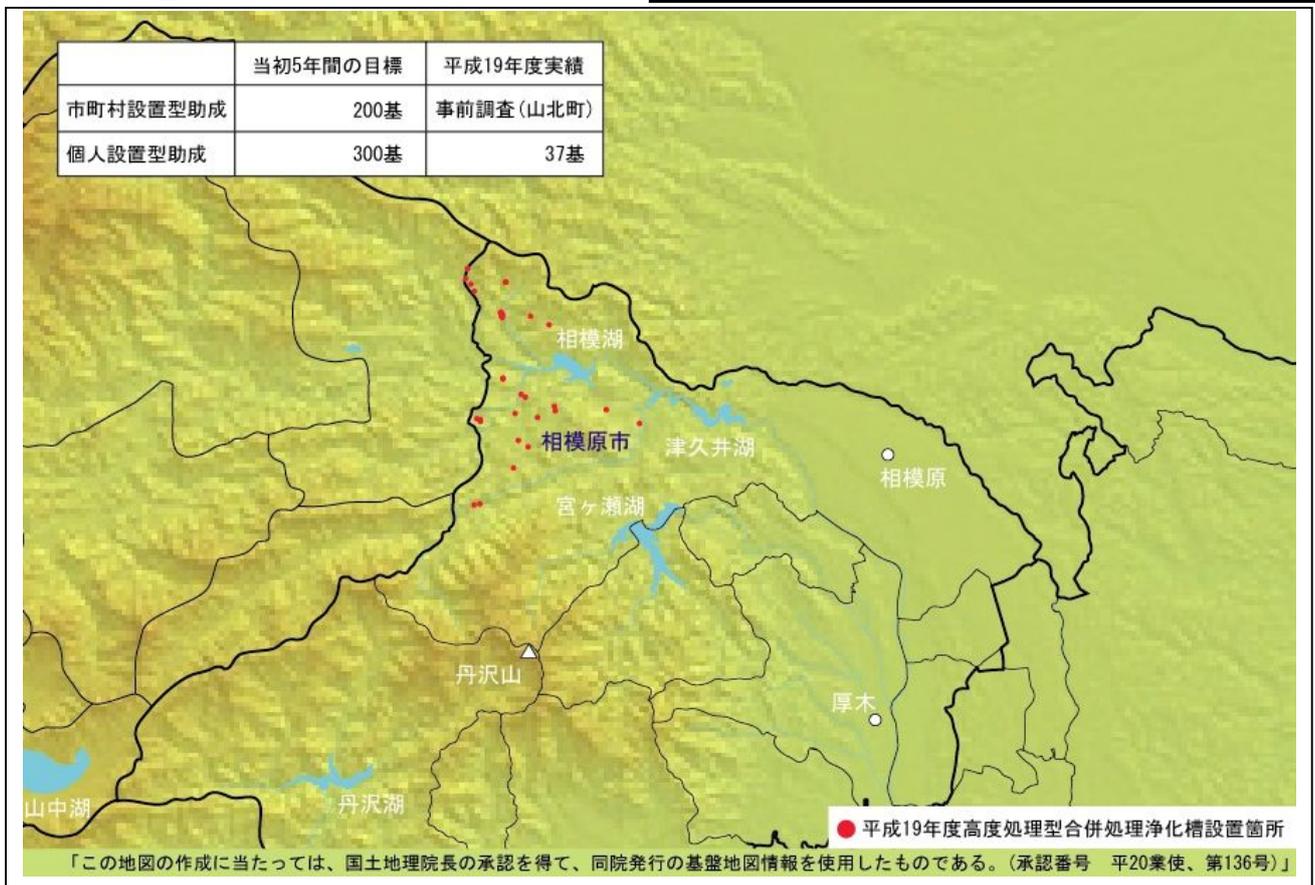
### (2) 個人設置型

|          |             |
|----------|-------------|
| 平成 19 年度 | 相模原市 37 基設置 |
| 平成 20 年度 | 相模原市 83 基設置 |

平成 20 年度の浄化槽整備 (山北町)

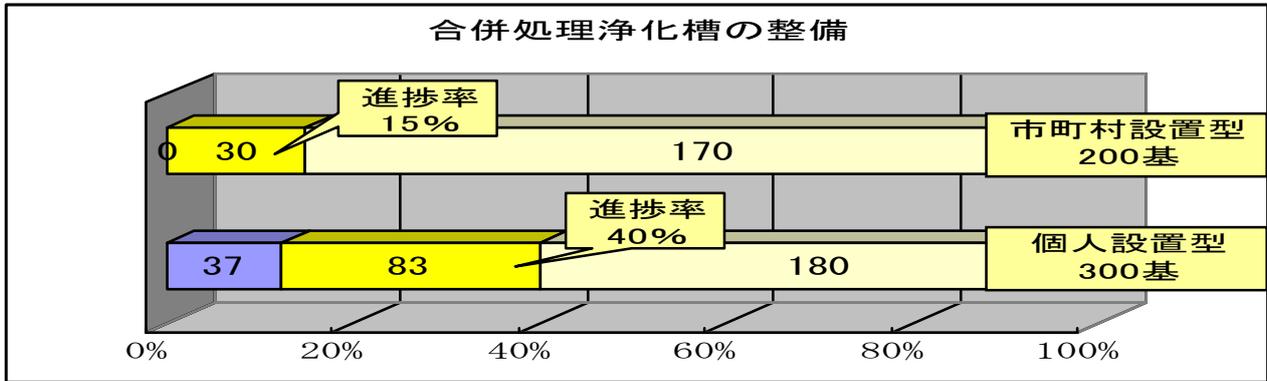


【事業実施箇所図】 (平成 19 年度)



## 6 5か年計画進捗状況

|        | 5か年計画の<br>目標 | 平成19年度<br>実績・進捗率 | 平成20年度<br>実績・進捗率 | 19～20年度<br>累計 | 平成21年度<br>計画 |
|--------|--------------|------------------|------------------|---------------|--------------|
| 市町村設置型 | 200基         | —                | 30基<br>(15%)     | 30基<br>(15%)  | 170基         |
| 個人設置型  | 300基         | 37基<br>(12%)     | 83基<br>(28%)     | 120基<br>(40%) | 30基          |



## 7 予算執行状況

| 5か年計画<br>合計額 | 平成19年度<br>執行額・進捗率 | 平成20年度<br>執行額・進捗率  | 19～20年度<br>累計      | 平成21年度<br>予算額 |
|--------------|-------------------|--------------------|--------------------|---------------|
| 6億4,600万円    | 6,640万円<br>(10%)  | 2億1,880万円<br>(34%) | 2億8,520万円<br>(44%) | 3億3,250万円     |

